



平成 27 年 5 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社三洋堂ホールディングス
 代 表 者 名 代表取締役最高経営責任者兼 加藤 和裕
 最 高 執 行 役 員
 (東証JASDAQ コード番号: 3058)
 問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 伊 藤 勇
 人 事 総 務 部 長
 (TEL: 052-871-3434)

特別損失（減損損失）の発生及び 個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 3 月期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）の個別業績につきまして、特別損失を計上することとなったため、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容（個別決算）

平成 27 年 3 月期決算において「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、土地の時価が著しく下落している店舗等の固定資産について、減損損失 2 億 8 百万円を特別損失に計上することとなりました。

2. 平成 27 年 3 月期個別業績の前期実績値との差異(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前期（平成 26 年 3 月期） 実績 (A)	百万円 3,177	百万円 334	百万円 300	百万円 61	円 銭 10.51
当期（平成 27 年 3 月期） 実績 (B)	2,953	356	328	△67	△11.62
増減額 (B - A)	△224	22	27	△128	—
増減率 (%)	△7.1	6.8	9.3	—	—

(差異の理由)

上記の個別業績の前期実績値との変動は、子会社である株式会社三洋堂書店の売上減少によって経営指導料収入が減少したこと、税制改正に伴う繰延税金資産の取り崩しを行った影響で税金費用が増えたこと、前述の「1. 特別損失の発生及びその内容（個別決算）」に記載の特別損失が個別決算で発生したことに起因するものであります。

以上